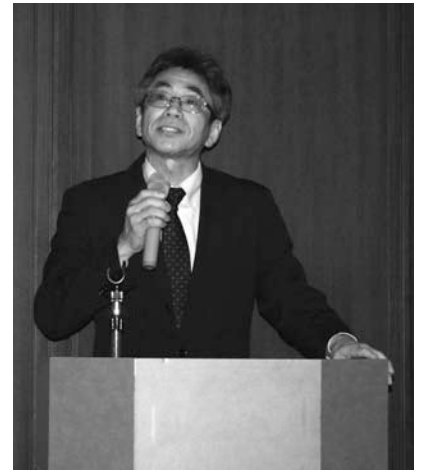


# Structure Kansai No.118 2013.7

JSCA関西ホームページに会員皆様の意見、質問に答えるコーナーを開設しております。ご活用下さい。

## 2013年度(一社)日本建築構造技術者協会関西支部支部総会 5月14日開催



関西支部 支部長

支部長就任にあたって  
株大林組  
安井 雅明

この度、JSCA関西支部の支部長を務めることになりました安井です。私は関西支部活動においては、広報委員、技術委員を経てきましたが、これらのJSCAの活動を通して、私自身は多くの刺激を受け、さまざまな視点で考えるきっかけとなりました。

今回支部長を務めるにあたって、「構造設計者は社会的にとっても重要な仕事していることに対して私たち自身が誇りと自信を持つとともに、一般社会の方々にも十分に理解していただくこと」を目標とし、そのために何をなすべきかを考え、活動の基本方針に据えたいと思います。5月の支部総会では今年度からの新役員体制が承認され、大きく若返りも図られました。

JSCA活動の原点は、私たち会員一人一人の地道な活動の積み重ねと、それらが同じJSCAと言う土俵に結集し、お互い切磋琢磨した協力する事から始まると認識しています。諸先輩がたが繋いでこられたタスキをしっかり受け取り、次の世代へと受け渡せるようにできる限りの努力をして行きますので、皆様のご協力をお願いいたします。



関西支部 副支部長

ピアレビュー  
株能勢建築構造研究所  
横田 友行

この度、安井雅明さんを支部長としてスタートする新体制において、副支部長という大役を仰せつかり、重責を痛感しております。これまで、技術委員会の木構造分科会では2年前まで主査を務め、木造住宅レビュー委員会では限界耐力計算による耐震設計法の作成に携わってきました。今は講習会やレビューによって設計法の普及活動を行っております。

さて、JSCAが行なっていますピアレビュー(構造レビューと木造耐震設計レビュー)は、建築確認や適合性判定とは異なり、建物の耐震性能評価における技術的な助言による設計者の支援活動です。経験豊富な構造設計実務者がレビュー委員となり、ヒアリング等により設計者の考え方等についてアドバイスしますので、初めての構造形式や設計手法に取り組む際などに、このピアレビューを利用してください。

これからは、構造設計事務所に在籍する技術者の視点で、安井支部長と吉澤副支部長とともに、JSCA関西支部の活動を盛り上げたいと思いますので、よろしくお願いたします。



関西支部 副支部長

新任の御挨拶  
株日建設計  
吉澤 幹夫

このたび関西支部の副支部長を仰せつかりました吉澤幹夫です。構造設計を生業としてスタートしたのが1984年でした。その後の時代では、超高層ビルや大スパン建築物が百花繚乱の如く建設されていたバブル経済期、1995年の兵庫県南部地震での関西で本格的な地震被害、2003年の十勝沖地震での長周期地震動、2005年に発生した耐震強度偽装事件とそれに端を発した建築基準法・建築士法の改正、2011年の東北地方太平洋沖地震での津波と非構造部材の被害など、30年あまりの間に構造設計者に大きく影響を与えた様々な出来事がありました。

耐震改修促進法の改正が国会で成立しました。天井・エスカレータの脱落対策が告示化されます。長周期地震動の対策も現在模索中ですが急がれるところです。構造設計者の職責は一層重みを増していくでしょう。このような中で次代を担う若手にとって構造設計が魅力的な職業と思える展望ある活動が重要と考えます。

安井支部長の下で横田副支部長とともに支部活動を盛り上げていく所存です。ご支援をよろしくお願いたします。

## ■構造デザイン発表会優秀賞の紹介

縦長の開口が上下で千鳥状に配置された  
ファサードデザイン  
「和歌山信愛女子短大  
附属中学・高等学校」



(株)竹中工務店  
澤井 祥晃

### 1. 作品概要

本作品は、和歌山市の中心に位置する和歌山信愛女子短大附属中学・高等学校の既存校舎を建て替えるプロジェクトである。本建物においては、お客様の要望として、西日による日射負荷やプライバシー、セキュリティへの配慮と、外部への情報発信という観点から、「外部に開きながら閉じる」というコンセプトを持ったファサードデザインを求められた。このデザインコンセプトを実現するため、お客様、設計・設備と協業しながら、外部に面する北・西立面においては、縦長の開口が、上下の階において千鳥状に配置されたファサードを計画した。(写真1)

### 2. ファサード構造計画

上記ファサードにおいては、開口が幅900mm、600mm、600mm、300mmという順序で配置され、各階で左右反対となるよう構成されている。そのため、上下階で柱を通した場合には、各柱に袖壁が必要となり、柱・梁の剛性評価が非常に難しく、また上下の開口がラップしていないことから、梁の危険断面位置の評価や実際の破壊性状を如何に適切に評価するかが課題であった。

この課題を解決するため、この外周架構の構造形式を、図1に示すように壁梁に壁柱が取りつく形式とした。解析モデルとしては、図2に示すように柱幅・梁成を剛域として評価した線材モデルに置換し、構造解析を行った。また、上下壁柱の寄りによる軸力

や曲げモーメントの伝達を正確に把握するため、図3に示す有限要素解析モデルを作成し、線材解析での架構の層剛性の妥当性を確認するとともに、仕口部や柱、梁の応力状態を確認している。

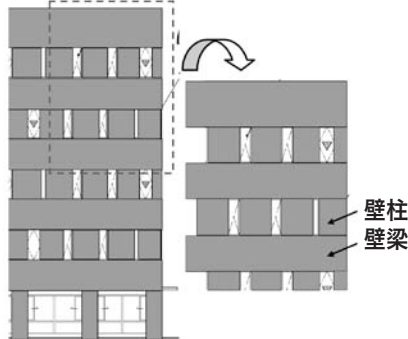


図1 壁柱-壁梁による構造計画

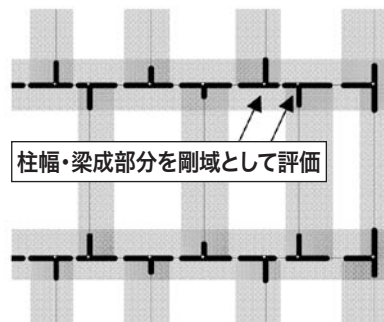


図2 外壁部の線材置換モデル

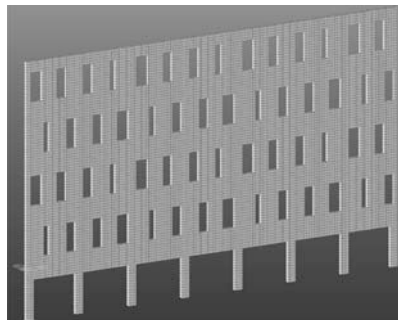


図3 外壁部の有限要素モデル



写真1 西側ファサード

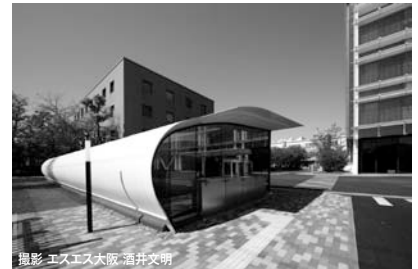
## ■構造デザイン発表会 優秀賞の紹介 企業イメージを発信する 薄板構造の設計



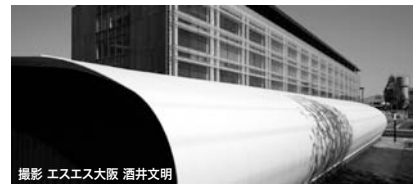
株式会社 日建設計  
朝日 智生

### 1. 建築概要

本建物は、新日鐵住金株式会社の技術開発本部(尼崎)の守衛所であり、施設全体の顔となる場所に位置している。企業イメージを発信する建築をめざし、研究所のアイコンとなるオブジェのような屋根形状を薄板の鋼板によって構成した。



撮影 エスエス大阪 酒井文明



撮影 エスエス大阪 酒井文明

### 2. 構造設計テーマ

必要な天井高さを確保しつつ建物高さを抑えることにより景観に配慮すると共に、主力製品であるシームレス鋼管や薄板のもつ素材感を企業イメージとして発信することを狙い、構造要素をいかに“薄く美しく”造るかをテーマに掲げた。

### 3. 構造体のユニット化

屋根面(約20m×7m)を1枚板で製作することは、工場製作、運搬上困難であるため、屋根面をいくつかのユニットに分けて工場製作し、現場にて接合する構造形式とした。鋼板は最大で2.4m幅のロール材を製造しているが、これには公差を含むこと、また平面計画上の観点などから1.8mモジュールを採用し、ユニット幅(柱ピッチ)を1.8mとしている。





#### 4. 構造ユニットの構成と性能

現場で結合するユニット形式の構造を“薄く美しく”造るには、①鋼板の性能(面内せん断耐力の高さ)を十分に生かすこと、②鋼板のたわみや工場、現場溶接による熱歪が小さいこと、③軒先の施工精度を確保すること、④製作時、運搬時に変形しないこと、⑤ユニット間の目違いが小さく溶接性がよいことなどが挙げられる。

そこでユニット両端に屋根面の形状に沿って骨(溝形鋼[-125×65×6×8:高周波曲げ加工])を設け、ユニット同士を溝形鋼ウェブの高力ボルト接合と屋根面鋼板(PL-9)の溶接で一体化することとした。これによりスパン方向の剛性と耐力を確保し、水平力に対して屋根面が一体となって抵抗することができる。施工面では、ユニット同士の高力ボルト接合仮締め時に、屋根面の目違い(溶接性)や軒先の施工精度(美観性)を現場にて微調整することができる。また、工場製作、運搬、鉄骨建方時には、ユニットの対角線上に溝形鋼の終始端を固定する補剛材を設けることで、ユニット単体のねじれ変形を抑制するなど精度管理に努めた。



以上のように、構造架構をユニット化し、鋼板の特性を生かすと同時に施工性に配慮した設計を行うことで“薄く美しい”構造要素を実現した。



撮影 エスエス大阪 酒井文明

#### ■ 構造デザイン発表会 優秀賞の紹介 フラットバーとガラスブロックによる透明なハイブリッド構造体 「旧桜宮公会堂」 株竹中工務店 爰野 将児

##### 1. 作品概要

1935年竣工の旧桜宮公会堂の2階部分に挿入されたガラスブロックのチャペル(図1)。6面ともガラスブロックで囲まれた空間には天窓から入った光が拡散し、華やかな空間を演出している(写真1,2)。

##### 2. チャペルの構築方法

厚さ80mmのガラスブロック3個で1ユニットとなっているガラスブロックユニット(図2)を、壁・天井に約600mmピッチで配置したフラットバーに留め付けていくことでガラスブロックのチャペルを構築している(写真3)。フラットバーのせいをガラスブロックの厚さよりも小さい65mmとし、ガラスブロックの目地内に配置することにより、フラットバーの存在感を消し、内部・外部いずれの方向からも透明なガラスブロック面だけを見せる計画とした。

##### 3. 構造計画概要

###### ① 天井面について

天井面のガラスブロックの長期荷重については目地部に配置したフラットバーにより支持する計画とした。天井面のフラットバー自体は3mのピッチで存在する既存のR階大梁で支持するものとし、支持材の吊元は地震時に生じる水平力に抵抗できるようにするとともに、ガラスブロック内部から見上げた際にガラスブロック越しに影が映り込まないように形状に配慮した。

###### ② 壁面について

地震時における壁の面外方向の外力に対しては、フラットバーにより抵抗するものとし、壁の面内方向の外力に対してはガラスブロックユニットによる拘束効果を考慮したフラットバーとガラスブロックによるハイブリッド構造により抵抗する計画とした。ガラスブロックが地震荷重を負担するため、ガラスブロックユニットの圧縮・引張試験を行い、地震時にガラスブロックユニットに生じる応力が、ガラスブロックユニットの耐力以下になっていることを確認した。

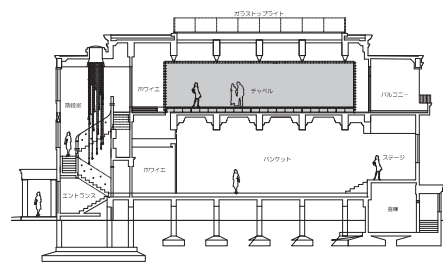


図1 建築計画(断面図)



写真1 チャペル内観



写真2 チャペル外観

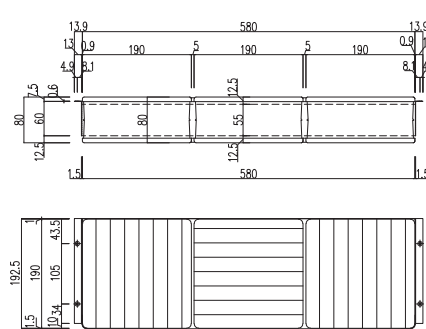


図2 ガラスブロックユニット



写真3 施工状況



金属系分科会  
拡大分科会報告

(株)竹中工務店  
澤井 祥晃

講師 (株)川哲工業 川方久敬相談役

演題 「現場溶接について」

日時 平成25年2月26日(火)

18:00~20:00

場所 大阪科学技術センター405号室

今回、講師としてお招きした川方久敬相談役は、昭和48年に(株)川哲工業を創立され、現場溶接のプロ集団として溶接業界を牽引されてこられました。現在では東京スカイツリーの現場溶接の約1/3を担当されたのをはじめ、関西では中之島フェスティバルタワー、あべのハルカス、大阪駅ビルなど、日本各地の大型鋼構造物の現場溶接では、欠かせない存在となっております。今回は、長年の現場溶接で得られた知見に加え、冶金学的な考察も交えて、現場溶接におけるCO<sub>2</sub>半自動溶接の問題点についてご講演いただきました。

まず、代表的な溶接欠陥であるブ

ローホールに対する防風対策の重要性についてご説明がありました。その中で関東での防風対策に比べ、関西での防風対策が遅れているとのお話があり、関西の技術者の一員として、考えさせられるところがありました。



写真1 防風対策の実例

また、裏当金近辺では、黒皮および水分の吸着等の原因によるブローホールが多く発生するが、柱・柱継手では、例えば、図1に示すようなディテールの改善により、ブローホールの発生を抑制できるとのことでした。構造設計者として、設計面から溶接欠陥を無くす努力を今後もしていきたいと思いました。

その他、現場での鉄骨建て方において、現場溶接技術者に建て方精度の結果がなかなか伝達され状況であるが、現場溶接技術者に、建て方精度の情報を教えてもらえれば、溶接順序や溶接方法の改善により建て方精度の向上に寄与できるとの心強い御発言もありました。

今回の川方さんのご講演の内容は、構造設計者や施工管理者が、現場溶接技術者ともっとコラボレーションすることにより、より良い建築鉄骨工事の品質を実現できるとの熱いエールでもあり、構造設計者として、このエールに応えられるようさらに努力していきたいと感じた次第です。

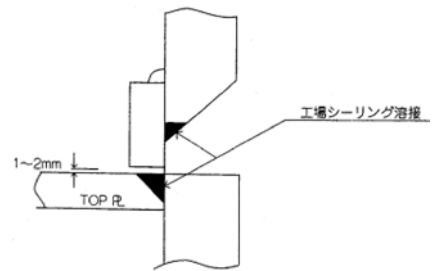


図1 ブローホール低域詳細例



新日鐵住金堺製鉄所・  
日鉄住金ボルテン本社工場  
工場見学会報告

(株)竹中工務店  
熊谷 考文

平成25年2月27日(水)にJSCA主催の工場見学会が開催され、30名程度の参加者が集まりました。新日鐵住金堺製鉄所、日鉄住金ボルテン本社工場の2社の工場を見学させていただきました。

新日鐵住金堺製鉄所では大型形鋼生産拠点として、建築構造材であるH形鋼・ハイパービーム、土木・港湾工事事用鋼材である鋼矢板、および造船用の大形形鋼などを製造してお

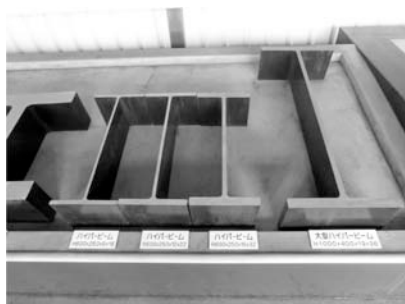
り、当日は実際に形鋼の製造過程を見学することができました。

コンベヤ上を鑄鉄が少しずつ圧延・整形されていく様は圧巻でした。また、SH材とJIS材の採用メリット・デメリットについての概要説明もあり、学ぶところが多くありました。

日鉄住金ボルテン本社工場では高力ボルトの製造を行っており、国内市場の50%程度のシェアを占めています。当日は高力ボルトの製造過程から溶融亜鉛めっき高力ボルトの製造過程を見学することができました。今回、私が見学会に参加した大きな理由として、高力ボルトの製造過程を見学できることがもっと大きな要因でした。実際に高力ボルト製造の過程を目の当たりとし、我々設

計者が当たり前のように入力している高力ボルトの性能・品質がどのように管理されているのかを知ることができました。また、特に驚いたのは、溶融亜鉛めっき高力ボルトと通常の高力ボルトは原材料が同じであり、めっき加工を行う際に強度が落ちるため、その性能に差異が生じるとのことです。

今回のJSCA見学会では学ぶことが多く、また、実際に設計で使用している材料の製造過程を知ることができ、良い経験をさせていただくことができました。このような見学会を開催していただき、ありがとうございます。今後の設計業務の中で今回の経験を活かしていければ、と思います。





## ■JSCA関西支部2012年度事業報告書

(2012年4月～2013年3月)

- 1.2012年度支部総会 5/30 建設交流館 出席者38名(委任状273通)
- 2.支部幹事会 5/14, 10/22
- 3.四役会 4/10, 5/8, 6/18, 7/17, 9/5, 10/2, 11/13, 12/11, 1/8, 2/12, 3/18
- 4.事業委員会 4/24, 5/8, 5/22, 6/18, 7/9, 8/6, 9/7, 10/18, 2/7, 2/27 (10/5 JSCA本部・関西共催2012構造デザイン発表会 会場:京都テルサ)
- 5.技術委員会 4/17, 5/16, 7/18, 9/19, 11/21, 1/16
- 6.広報委員会 4/19, 7/19, 10/18, 1/17
- 7.耐震診断・補強判定委員会関西支部 4/19, 5/24, 6/21, 7/19, 9/6, 10/17, 11/8, 12/20, 1/24, 2/14, 3/14
- 8.定例研究会 5/30 建設交流館「南海・東南海地震にそなえて、構造設計者はいかに対応するか-2011.3.11東北地方大震災の教訓を生かして-」参加者174名
- 9.新年活動報告 1/18 建設交流館 JSCA賞受賞者講演 参加者105名
- 10.JSCA関西支部 創立30周年事業  
11/9 「関西から『情熱』、『元氣』を発信しよう!」 参加者101名  
・講演会:平田進也氏「浪速のカリスマ添乗員」が語る「ほんまもののサービスはこれや!」  
・「情熱リアルデザイン選手権」受賞作品紹介  
・「おもしろ構造写真展」作品紹介および受賞者表彰  
・JSCA関西30周年記念「構造〇×クイズ」  
・JSCA関西支部30周年記念 懇親会 参加者:46名
- 11.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会  
・総会 11/17  
・幹事会 11/17  
・専門委員会 4/28, 8/4, 11/17, 3/23  
・WG活動 WG1 2/4  
WG2 4/23, 7/9, 7/31, 9/4, 11/13, 2/19  
WG3 4/2, 7/18, 10/9, 11/7, 2/8, 3/4  
WG4 4/20, 6/29, 11/5, 3/6  
WG5 7/2, 7/10, 10/9, 10/12, 10/17, 11/5, 12/6, 12/25, 2/5
- 12.現場見学会 2/27 新日鐵住金堺製鉄所+日鉄住金ボルテ本社工場 工場見学 参加者23名
- 13.支部報 Structure Kansai No.113, 114, 115, 116 発行
- 14.技術委員会各分科会  
・地盤系分科会 4/3, 5/10, 6/7, 8/2, 8/9, 10/4, 12/13, 2/7  
・RC分科会 6/5, 10/2, 12/4, 2/12  
・金属系分科会 6/26, 10/9, 12/11, 2/26, 3/26  
・耐震設計分科会 6/12, 8/29, 3/6  
・PC・工業化分科会 6/22, 8/23, 10/10, 12/5, 2/7  
・木構造分科会 4/4, 6/6, 8/1, 10/3, 12/5, 2/6  
・法制分科会 4/20, 6/1, 7/9, 8/20, 10/2, 12/3, 2/5  
・構造計画分科会 6/7, 9/20, 12/6  
・情報システム分科会 11/14, 2/5, 3/12
- 15.技術委員会拡大分科会  
・2/26 「現場溶接について」(金属系分科会) 参加者37名
- 16.賛助会員 技術交流会  
・第1回 7/6 賛助会員6社による発表・質疑応答 参加者43名  
・第2回 8/3 賛助会員7社による発表・質疑応答 参加者40名
- 17.サテライト活動  
・奈良会 (活動なし)  
・兵庫会 (活動なし)  
・京滋会 2/22 京都大学 釜江克宏教授 講演会 参加者31名  
「東日本大震災一観測史上最大の地震によって何が起こったか? 将来の南海トラフの巨大地震にどう備えるか?」
- 18.定期講習会  
・「東日本大震災から学ぶこと・被害の分析と提言」7/21 科学技術センター 参加者 182名
- 19.講習会  
・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」 4/4, 5/2, 6/6, 7/4, 8/1, 10/3, 12/5  
・「スキルアップセミナー」 10/10 参加者 44名  
・「若手技術者育成講座」 2/7 参加者 24名  
・「JSCA 構造設計実務者研修 応用編」 3/13 参加者 27名
- 20.親睦会  
・定例研究会懇親会 5/30 建設交流館 参加者 100名  
・賀詞交歓会 1/18 建設交流館 参加者 101名
- 21.研究受託 なし
- 22.他団体への委員・講師の派遣  
委員の派遣  
・神戸市「建築構造専門審査会」 瀬川輝夫,久森敏平,山田正人  
・大阪府「適判事例集作成ワーキング委員会」 近藤一雄,新保勝浩,安井雅明  
・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」 近藤一雄,田代靖彦,森田秀喜  
・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之

- ・日本建築総合試験所「大阪府営住宅耐震改修技術検討研究会」 太田 寛,近藤一雄  
・日本建築総合試験所「判定助言委員会」 阿波野昌幸,近藤一雄,新保勝浩,西村勝前,野敏元  
・大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 緑川 功  
・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 近藤一雄  
・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行  
・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正

### 講師派遣

- ・大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」 横田友行, 湧川寛洋  
・京都市都市計画局建築指導部「京町家派遣耐震診断士講習会」 榎原健一  
・大阪府建築士会他「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 阿波野昌幸,嶋崎敬志,河野隆史,谷口由乃,西崎隆氏,藤井彰人,水井勇人  
・大阪府建築士会他「既存鉄骨造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 新居 努,澤井祥晃,松本孝弘,緑川 功  
・大阪府建築士会他「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」 小倉正恒,榎原健一,野島千里,榊田洋子,横田友行  
・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・補強設計講習会」 榎原健一, 横田友行  
・和歌山県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」 榎原健一  
・尼崎市「建築技術研修会」 大堀太志,西崎隆氏,野澤裕和,前川元伸,村上陸太

### 23.関連団体との交流

- ・在阪建築関連14団体事務局会議 4/27, 9/19, 3/22  
・在阪建築関連14団体会長・支部長午餐会 11/5  
・在阪建築関連14団体2013年新年交礼会 1/4  
(本年度、JSCA関西が在阪建築関連14団体の当番会)

## ■JSCA関西支部2013年度事業計画書

(2013年4月～2014年3月)

- 1.2013年度支部総会 5/14 建設交流館グリーンホール
- 2.支部幹事会 5/7, 秋頃実施予定
- 3.四役会 4/19, 5/31, 6/7, 7/26, 8/23, 9/27, 10/25, 11/22, 12/20, 1/未, 2/28, 3/28
- 4.事業委員会 4/23, 秋頃実施予定
- 5.技術委員会 4/15, 6/18, 8/20, 10/15, 12/17, 2/18
- 6.広報委員会 4/18, 7/18, 以降1回/各季 程度
- 7.構造レビュー委員会 随時実施予定
- 8.木造住宅レビュー委員会 随時実施予定
- 9.耐震診断・補強判定委員会関西支部 4/18, 以降1回/月 実施予定
- 10.定例研究会 5/14 建設交流館グリーンホール
- 11.新年活動報告会 1月実施予定
- 12.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会  
・総会 秋頃実施予定  
・幹事会 秋頃実施予定  
・専門委員会 随時実施予定  
・WG 随時実施予定
- 13.現場見学会 随時実施予定
- 14.視察研修 1回/年 実施予定
- 15.支部報 Structure Kansai No.117, 118, 119, 120 発行予定
- 16.技術委員会各分科会  
・地盤系分科会 6回/年 程度実施予定  
・RC分科会 6回/年 程度実施予定  
・金属系分科会 6回/年 程度実施予定  
・情報システム分科会 6回/年 程度実施予定  
・耐震設計分科会 6回/年 程度実施予定  
・PC・工業化分科会 6回/年 程度実施予定  
・構造計画分科会 6回/年 程度実施予定  
・木構造分科会 6回/年 程度実施予定  
・法制分科会 6回/年 程度実施予定
- 17.技術委員会拡大分科会  
・4/3 「歴史的建造物をめぐる動きと高砂神社能舞台新築工事の紹介」(木構造分科会) 各分科会により1回/年 程度実施予定
- 18.サテライト活動  
・奈良会 1回/年 程度実施予定  
・京滋会 1回/年 程度実施予定  
・兵庫会 1回/年 程度実施予定
- 19.賛助会員技術交流会 随時実施予定
- 20.講習会  
・「木造軸組構法の新しい耐震設計法がマスターできる実務講習会」 4/3, 以降随時実施予定  
・「JSCA構造設計若手実務者研修」 秋頃実施予定  
・「定期講習会」 8/3  
・「若手技術者育成講座」 2月実施予定  
・「スキルアップセミナー」 夏頃実施予定

21.親睦会

- 支部総会懇親会 5/14 建設交流館
・賀詞交歓会 1月実施予定

22.研究受託

- 適宜

21.他団体への委員・講師の派遣

委員の派遣

- 神戸市「建築構造専門審査会」 瀬川輝夫,久森敏平,山田正人
・京都市「京町家レビュー委員会」 榎原健一,小倉正恒
・日本建築総合試験所「判定助言委員会」 小倉正恒,近藤一雄,安井雅明
横田友行,吉澤幹夫
・日本建築総合試験所「建築構造性能評価委員会」 近藤一雄,田代靖彦,森田秀喜
・日本建築総合試験所「既存建築物耐震診断等判定委員会」 上田博之
・日本建築総合試験所「建築技術性能認証委員会」 松尾雅夫
・大阪建築防災センター「耐震改修評価委員会」 緑川 功
・大阪府建築士会「専攻建築士審査評議会」 未定
・大阪府建築士会「CPDプログラム認定評議会」 横田友行
・京都府建築士会「専攻建築士審査評議会」 中森康正

講師派遣

- 大阪建築物震災対策推進協議会「被災建築物の応急危険度判定講習会」
横田友行,湧川寛洋
・大阪府建築士会他「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 未定
・大阪府建築士会他「既存鉄骨造建築物の耐震診断・改修指針講習会」 未定
・大阪府建築士会他「既存木造住宅の耐震診断・改修講習会」 上田尚延,大崎修,小倉正恒,榎原健一,北山宏貴,鈴木直幹,野島千里,榎田洋子,横田友行
・奈良県建築士会「既存木造住宅の耐震診断・補強設計講習会」 榎原健一,横田友行
・和歌山県建築士会「ヘリテージマネージャー制度講習会」 榎原健一
・尼崎市「建築技術研修会」 未定

24.関連団体との交流

- 建築関連14団体事務局会議 秋頃
・建築関連14団体会長・支部長午餐会 秋頃
・建築関連14団体2014年新年交礼会 1/6

■2013年度支部役員及び委員

アンダーライン 新任

●幹事

- 支部長 安井雅明 (大林組) :支部担当理事
副支部長 横田友行 (能勢建築構造研究所)
副支部長 吉澤幹夫 (日建設計) 本部担当理事
監事 上森博 (日本設計)
浦翼利男 (うらたつみ建築技研)
小倉正恒 (清水建設)
神沢宏明 (鴻池組)
近藤一雄 (東畑建築事務所)
佐藤啓治 (大成建設)
新保勝浩 (ネオフォルム構造技研)
田代靖彦 (日建設計)
辻泰一 (鹿島建設)
榎田洋子 (桃李舎)
松村和夫 (松村構造計画)
宮崎英也 (山田建築構造事務所)
村上陸太 (竹中工務店)
山浦晋弘 (安井建築設計事務所)

- 監査 西村清志 (平田建築構造研究所)
福山國夫 (防災科学技術研究所)

- 支部顧問 角 彰 (日本建築総合試験所)
谷尾俊弘 (イオリ建築設計事務所)
辻 英一 (安井建築設計事務所)
馬瀬芳知 (馬瀬構造設計事務所)
八木貞樹 (八木建築構造研究所)

- 事務局 嶋崎敦志 (大林組) 局長
伊藤祥二 (大林組)
岩佐裕一 (日本建築総合試験所)
貝谷淳一 (能勢建築構造研究所)
片山丈士 (竹中工務店)
神沢宏明 (鴻池組)
木下隆嗣 (東畑建築事務所)
辻泰一 (鹿島建設)
前川元伸 (竹中工務店)
山崎英一 (大成建設)
横山 満 (日建設計)
石原邦子 (JSCA大阪事務所事務長)

●技術委員会

- 委員長 村上陸太 (竹中工務店)
委員 嘉村武浩 (日建設計) ...RC
大住和正 (大林組) ...PC/工業化
新居務 (大林組) ...金属系
佐藤隆志 (清水建設) ...耐震設計
佐分利和宏 (竹中工務店) ...地盤系
原昌寿 (フレームワークス) ...構架システム
藤井彰人 (大林組) ...構造計画
宮崎英也 (山田建築構造事務所) ...法制
榎田洋子 (桃李舎) ...木構造

●広報委員会

- 委員長 田代靖彦 (日建設計)
委員 慶祐一 (竹中工務店)
川正明 (鹿島建設)
越智敏夫 (大林組)
金田興熙 (K&S構造設計事務所)
軸丸久司 (日建設計)
田辺大 (鴻池組)
中村篤 (大林組)
野澤裕和 (竹中工務店)
橋本宗明 (北條建築構造研究所)
石浩二 (イオリ建築設計事務所)
柳澤信行 (竹中工務店)
山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
山田細香 (山田建築構造事務所)
吉田 聡 (日建設計)

●構造レビュー委員会

- 委員長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
浦翼利男 (うらたつみ建築技研)
片山丈士 (竹中工務店)
榎原健一 (SERB)
近藤一雄 (東畑建築事務所)
新保勝浩 (ネオフォルム構造技研)
角 彰 (日本建築総合試験所)
辻 幸二 (日本建築総合試験所)
北條稔郎 (北條建築構造研究所)
福山國夫 (防災科学技術研究所)
政木武志 (フォルムふぉらむ)
榎田洋子 (桃李舎)
宮崎英也 (山田建築構造事務所)
森田秀喜 (安井建築設計事務所)
八木貞樹 (八木建築構造研究所)
安井雅明 (大林組)
横田友行 (能勢建築構造研究所)
吉澤幹夫 (日建設計)

●木造住宅レビュー委員会

- 委員長 榎原健一 (SERB)
委員 青木和雄 (竹中工務店)
大崎修 (大崎建築設計事務所)
小倉正恒 (清水建設)
四宮忠明 (野島建築設計事務所)
野島千里 (桃李舎)
榎田洋子 (桃李舎)
横田友行 (能勢建築構造研究所)

●危機管理委員会

- 委員長 辻 幸二 (日本建築総合試験所)
委員 近藤一雄 (東畑建築事務所)
渡辺 勳 (フメダ設計)

●定期講習WG

- 片山丈士 (竹中工務店)
嶋崎敦志 (大林組)
吉澤幹夫 (日建設計)

●耐震診断委員会関西西部会

- 部会長 山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
副部会長 嶋崎敦志 (大林組)
委員 阿波野昌幸 (近畿大学)
浦翼利男 (うらたつみ建築技研)
片山丈士 (竹中工務店)
榎原健一 (SERB)
近藤一雄 (東畑建築事務所)
辻 幸二 (日本建築総合試験所)
福山國夫 (防災科学技術研究所)
政木武志 (フォルムふぉらむ)
峯 隆俊 (峯構造技術研究所)
森田秀喜 (安井建築設計事務所)
八木貞樹 (八木建築構造研究所)
安井雅明 (大林組)
大崎修 (大崎建築設計事務所)
小倉正恒 (清水建設)
横田友行 (能勢建築構造研究所)

●編集委員会関西西部会

- 部会長 藤井正則 (大林組)
委員 大堀太志 (竹中工務店)
小倉正恒 (清水建設)
佐藤啓治 (大成建設)
白沢吉衛 (日建設計)
山浦晋弘 (安井建築設計事務所)
太田 寛 (鴻池組)

●事業委員会

- 委員長 小倉正恒 (清水建設)
委員 藤井正則 (大林組)
上田博之 (竹中工務店)
上森博 (日本設計)
塚越治夫 (日建設計)
宮崎英也 (山田建築構造事務所)
湧川寛洋 (平田建築構造研究所)

## 2012年度収支報告書（自：2012年4月1日 至：2013年3月31日）

単位：円

	科目	予算	決算	備考
収入の部	交付金収入	4,428,000	4,428,000	本部からの交付金
	研究会費	1,000,000	881,850	会費(拡大分科会,若手講習,木造講習会,技術交流会等)
	懇談会費	1,000,000	1,146,000	5/30、1/18
	大震災収入	2,320,000	1,760,751	会費
	受取利息	0	3,869	
	雑収入	0	53,300	共催講習会手数料等
	記念行事収入	0	184,000	11/29 30周年記念事業 懇親会会費
	特別会計繰入金収入	2,400,000	1,500,000	
	当期収入合計(A)	11,148,000	9,957,770	
	前期繰越収支差額	6,283,628	6,283,628	
収入合計(B)		17,431,628	16,241,398	
支出の部	委員会費	400,000	421,691	
	研究会費	3,000,000	1,278,675	定例研究会、拡大分科会、若手講習、木造講習、デザイン発表等
	懇談会費	1,100,000	984,429	5/30、1/18
	大震災支出	1,320,000	1,038,698	
	大会誌発行費	1,100,000	884,745	ストラクチャー関西発行
	渉外費	30,000	47,758	14団体関連(当番会参加費等)
	事業費合計	6,950,000	4,655,996	
	消耗品費	640,000	231,135	コピーカウント料金他
	通信事務費	180,000	113,349	電話代等
	事務機器費	460,000	482,832	機器リース代、インターネットバンク基本料等
	雑費	180,000	143,006	HPメンテナンス、科学技術センター年会費、振込手数料等
	総会費	70,000	47,549	
	理事会費	30,000	0	
	運営会議費	50,000	20,557	幹事会、四役会
	光熱費	160,000	112,566	一般会計として総額の40%
	支部賃借料	720,000	561,840	一般会計として総額の40%
	管理費合計	2,490,000	1,712,834	
記念事業費	1,500,000	847,041	11/29 30周年記念事業	
予備費	0	0		
当期支出合計(C)	10,940,000	7,215,871		
当期収支差額(A)-(C)	208,000	2,741,899		
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,491,628	9,025,527		

## 2013年度収支予算書（自：2013年4月1日 至：2014年3月31日）

単位：円

	科目	予算	備考
収入の部	交付金収入	4,332,000	
	研究会費	1,440,000	会費(若手講習会,木造講習会,拡大分科会等)
	懇談会費	1,100,000	総会、新年会
	大震災収入	1,560,000	会費
	受取利息	1,000	
	雑収入	0	
	特別会計繰入金収入	0	
当期収入合計(A)	8,433,000		
支出の部	委員会費	400,000	定例研究会、拡大分科会、若手講習等
	研究会費	1,700,000	
	大震災支出	1,400,000	
	大会誌発行費	1,000,000	ストラクチャー関西発行
	渉外費	50,000	14団体関連
	事業費合計	4,550,000	
	消耗品費	600,000	コピーカウント料金他
	通信事務費	180,000	電話代等
	事務機器費	460,000	機器リース代、インターネットバンク基本料等
	雑費	400,000	HPメンテナンス
	総会費	70,000	
	懇談会費	1,100,000	
	運営会議費	80,000	幹事会
光熱費	180,000	一般会計として総額の40%	
支部賃借料	750,000	一般会計として総額の40%	
管理費合計	3,820,000		
予備費	63,000		
当期支出合計(B)	8,433,000		
当期収支差額	0		



## ●事務局だより

### 1.支部総会

5月14日(水)13:30~14:30

### 2.支部幹事会

5月7日(火)

### 3.四役会

4月19日(金)18:30~20:00

6月7日(金)18:00~20:00

### 4.事業委員会

4月23日(火)18:00~19:30

12年度活動報告、13年度活動計画まとめ

### 5.技術委員会

4月15日(月)18:00~19:00

1. 分科会の年間予定について

2. 年間行事について

3. 本部分科会活動報告

4. 各分科会活動報告

6月25日(火)18:00~19:00

1. 各分科会の活動報告

2. 本年の分科会、拡大分科会の方針について

3. その他

### 6.広報委員会

4月18日(木)18:00~19:00

### 7.耐震診断・補強判定委員会関西西部会

4月18日(木)18:00~20:00

5月16日(木)18:00~20:00

### 8.大阪府域内陸直下型地震に対する建築設計用地震動および設計法に関する研究会

#### ○専門委員会

6月29日(土)14:00~18:00

1. 各WGからの研究報告

2. 会員からの具体的設計事例の紹介活動報告

3. 懇親会

#### ○WG1(地震動作成)

集合活動なし

#### ○WG2(解析法)

3月19日(火)10:00~12:00

1. 3/23専門委員会資料確認

2. パルス地震動に関する検討

3. 動的崩壊過程における変形集中現象

#### ○WG3(RC系)

5月31日(金)18:00~19:30

1. 柱梁接合部設計法について

2. 材料高強度化による応答性状変化(部材塑性率による検討)

#### ○WG4(S系)

5月31日(金)18:30~21:00

1. 柱端溶接部の破断により決定される

柱の塑性変形能力について

2. SNAPの耐力劣化を考慮した部材モデルについて

3. 梁端溶接接合部の補強方法に関する研究について

#### ○WG5(免震構造)

3月8日(金)18:00~20:00

衝撃緩衝装置を用いた建築物の応答解析

5月22日(水)18:00~19:30

1. ツナイダルの具体的な取り付け方法について

2. 積層ゴム系支承だけでなく、その他の免震材料の限界状態について

#### 9.定例研究会

5月14日(水)15:00~18:00

#### 10.支部報

Structure Kansai No.117発行

#### 11.技術委員会各分科会

##### ○地盤系分科会

4月4日(木)18:00~19:30

6月6日(木)18:00~20:00

7月初旬(予定)

##### ○RC分科会

4月9日(火)18:00~19:00

高強度せん断補強筋、機械式鉄筋定着工法の現状

##### ○金属系分科会

2月26日(火)18:00~20:00

(拡大分科会)

川哲工業川方久敬相談役講演会「現場溶接について」

3月26日(火)18:00~20:00

「JSCA構造デザイン発表会 2012」の鉄骨系構造物3題の発表

6月26日(水)17:30~19:30

##### ○耐震設計分科会

開催なし

##### ○PC・工業化分科会

7月(予定)

##### ○木構造分科会

4月3日(水)18:00~20:30

歴史的建造物をめぐる動きと高砂神社能舞台新築工事の紹介

6月5日(水)19:00~20:45

1. 木造のレビュー制度について

2. 木構造分科会作成の「よくある質疑事項の解説」の報告

##### ○法制分科会

4月12日(金)15:00~17:00

1. 耐震強度偽装行政責任について

2. ニセ建築士について

3. 耐震診断、耐震補強の構造計算Q&Aについて

4. 建築基準法制定準備会資料について

5. その他情報意見交換

6月5日(水)15:00~17:00

1. 「偽装鉄骨」に不法行為の判決について

2. 「適判」制度の見直し着手について

3. 構造計算適合性判定制度に対する設計者等の主な意見について

4. その他情報意見交換

#### ○構造計画分科会

6月27日(木)(予定)

#### ○情報システム分科会

3月12日(火)18:30~20:00

電算利用に関する諸問題について

5月21日(火)17:00~19:00

電算利用に関する諸問題について

7月9日(火)(予定)

#### 12.サテライト活動

##### ○京滋会

(11月に講演会開催予定)

##### ○奈良会

活動なし

#### 13.懇親会

5月14日(水)18:00~19:30

## ●編集後記

4月にグランフロント大阪、6月にあべのハルカスがオープンし、停滞気味だった大阪の経済も動き出しました。建築を取り巻く環境も徐々にではありますが改善されつつあるように感じます。そのような状況の中でJSCAが担う役割も一層重要なものになると思われまます。

会員諸氏のより一層のご活躍をお祈り申し上げます。(柳澤、金田)

発行 (社)日本建築構造技術者協会  
関西支部事務局

〒550-0003

大阪市西区京町堀1-8-31(安田ビル)

Tel 06-6446-6223 Fax 06-6446-6224

Mail jscaweb@kansai.email.ne.jp

URL <http://www.mmjp.or.jp/jsc-kansai/>